

日刊不動産経済通信 2014年3月14日

## タイトル

環境不促進機構、月末迄にFM全て決定  
—残346億出資へ、建替・省エネ改修等

## 記事概要

国土交通省と環境省による「耐震・環境不動産形成促進事業」の基金設置法人である「環境不動産普及促進機構」(RE-SEED)は、今月中に不動産運用会社(FM)を全て固めることで、事業加速化に弾みをつける。

昨年7月に行った第1回のFM募集には10社が応募。第1号として昨年12月にトーセイ・アセット・アドバイザーズを選定し、トーセイと共同組成した投資事業有限責任組合(LPS)に4億円を出資した。SPCの規模は16億円程度とみられ、既存建築物の省エネ改修案件に投資する。

第2回FM募集は2月末で締め切った。応募は約20社と前回より10社程度多い。FMは今回の募集で打ち止めとし、未出資分の346億円は来年度早々に使い切る。

※当社掲載記事のご紹介は、当社をご紹介いただいた記事の掲載内容を要約したものです。  
情報源となる記事の一切は、トーセイ株式会社が作成したものではありません。

トーセイ株式会社 経営企画部

東京都港区虎ノ門4丁目2番3号 虎ノ門トーセイビル

Tel 03-3435-2864 Fax 03-3435-2866

URL:<http://www.toseicorp.co.jp> Mail:[pr-tosei@toseicorp.co.jp](mailto:pr-tosei@toseicorp.co.jp)